

事業名	老人クラブ育成事業
-----	-----------

総事業費	1,259 千円
------	----------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域包括ケアの推進
	基本事業名	高齢者の社会参加の促進

## ② 実施 (Do)

事業の意図	老人クラブの各種活動を通して、高齢者が生きがいのある自立した生活を送ることができる。	
事業の実績 と成果	取組内容	市老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付し、それぞれの活動の財政的な支援を行った。また、市労連を中心に実施されたイベントやボランティア活動に参加し、広報紙への掲載と老人クラブ加入の促進を図った。
	成果	清掃活動、友愛訪問活動等で使う物品の購入や、ゲートボール場の修繕等、必要な経費を補助金でまかない、活動が円滑に実施されている。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市老人クラブ連合会の存続が危ぶまれている。単位老人クラブ数が減少しており、老連に入る負担金の収入が減っていることと、事務局を担う人材が少ないことが原因であり、老連に対して補助金の交付額を上げるなど支援が必要である。また、各単老に一律48,000円の補助金を交付しているが、使い切らないという声も聞かれる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	老人クラブの各種活動を通して高齢者が生きがいのある自立した生活を送るために支援しているが、単位老人クラブの加入団体・加入者は年々減少している。加入団体・加入者が増えるような魅力的な活動のあり方について、今後も市老人クラブ連合会と連携して検討していく必要がある。

## ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	市連合会と連携しながら、老人クラブの魅力的な活動と、会員数の増加を図って行く。
------------	---

事業名	高齢者地域支え合いグループポイント事業
-----	---------------------

総事業費	3,337 千円
------	----------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域包括ケアの推進
	基本事業名	高齢者の社会参加の促進

## ② 実施 (Do)

事業の意図	各種互助活動を通じて、グループメンバーの健康づくり、介護予防につながる。	
事業の実績 と成果	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容を周知し、各高齢者団体からのグループ登録申請を受理。</li> <li>・ 各グループから提出される活動実績に応じてポイントを付与し、商品券への交換及び配付を行った。</li> <li>・ 提出書類の簡素化など負担軽減を図ったり、ポイント付与に係る研修会を開催したり、よりわかりやすく丁寧な説明に努め、活動継続ができるよう取り組んだ。</li> </ul>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの高齢者が互助活動に参加することにより、参加者自身の健康づくり・生きがいづくりに繋がるとともに、地域づくり・地域経済の活性化にも繋がっている。</li> <li>・ 県の事業廃止に伴い、元気アップ体操をグループ登録の必須条件にしたことにより、登録グループ数および登録人数は昨年度より減少している。しかし、今年度は新たに6か所でグループが立ち上がり、4か所が廃止となったが、結果として2か所の増加となったため、地域における健康づくりの拠点が増加していると考えられる。</li> </ul>

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業に伴う支援者への負担が大きいため、今後も支援者への事務負担を軽減し、新規グループ発足やグループの継続が容易になるよう工夫が必要である。</li> <li>・ ほぼ同じ構成員で複数のグループを登録しているケースが散見される。参加者の複数グループ参加は県のガイドラインでは認められているものの、ポイント付与の上限を求めている意味が不明瞭になっていることから、見直しが必要とも感じられる。</li> </ul>
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	提出書類の簡素化など負担軽減を図ったり、ポイント付与に係る研修会を開催したり、活動継続ができるよう取り組んだが、今年度からの事業見直しにより事業に参加できなくなったグループもあるので、何とか元気アップ体操を取り入れてもらって市が進める介護予防のための活動に繋げる努力もしていきたい。

## ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	事業に伴う支援者への負担が大きく、支援者不足が顕著のため支援者への事務負担を軽減し、新規グループ発足やグループの継続が容易になるような取組を行う。
------------	---